

第十六回句会 俳句

【高点句】

☆熱爛や今日の一日（ひとひ）を良しとせむ 〈千恵〉

☆冬ぬくし夢買う列の長く伸び 〈安津子〉

☆熱爛や江戸っ子訛りに伊予訛り 〈童心〉

【各自一句】

・極月や捨てるべき物捨て忘れ 〈静〉

・はんぺんをおまけに貰ふおでん酒 〈きさ〉

・家事終えて両手に包む葛湯かな 〈安津子〉

・トンネルをくぐりぬければ冬紅葉 〈童心〉

・山茶花の散りあと愛し乱れおり 〈青蛙〉

・十二月八日何事もなく寂しかり 〈千恵〉

・熱爛に任せてこぼす愚痴の華 〈莫院〉

・池の杭余さず占めて百合鷗 〈眞澄〉

・鍋焼の蓋に手をかけ深呼吸 〈撫子〉

・朝時雨今日のひと日を案じつゝ 〈一馬〉

・ライブ終ふ頬に寒風心地よく 〈明美〉

\*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は11名による

\*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による